



依頼者名: 有限会社 ライスロッヂ大潟 殿

結果報告日: 2011年10月1日

測定日: 2011年10月1日

報告書番号: RIN11QHH084RR

試料名 : あきたこまち 玄米 圃場名 D1(YS-130)

株式会社 同位体研究所

代表取締役 埴 章

横浜市鶴見区末広町1-1-40

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : 302g

検査及び

判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ 線スペクトロメーターによる核種測定。サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: ゲルマニウム30

核種	分析対象品目分類		測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本	玄米	ND	Bq/kg	1 Bq/kg
Caesium-134 Caesium-137	国内は、合算規制値		ND ND	Bq/kg Bq/kg	1 Bq/kg
放射性セシウム計	日本	玄米	ND	Bq/kg	1 Bq/kg

目標定量限界 10 Bq/kg 以下(5~10 Bq/kg) 尚、本検査では、測定時間は33分間(2,000秒)
(検体中の核種の存在状態により定量下限は変動する)

検出限界: 1 Bq/kg(多核種存在時は、これを上回る場合がある)

ND: 測定において、測定対象核種の検出ピークが認められない

放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、ゲルマニウム半導体検出器による2,000秒(33分)測定を行い、目標定量限界は10 Bq/kg以下とする。多核種存在時を除き、概ね定量限界は、5~10 Bq/kgであるが、定量限界未満でも対象核種のスペクトルが認められる場合には、測定時間を延長の上、確定を行う。検出限界は1 Bq/kg、ただし多核種存在時には、検出限界が高くなる場合がある)

結果注釈: I-131, Cs-134, Cs-137不検出

注)検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の収去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)